

愛知・名古屋 2026 アジア競技大会 トラック&フィールド種目日本代表選手選考要項

1. 編成方針

北京 2027 世界選手権、ロサンゼルス 2028 オリンピック競技大会でのメダル・入賞が期待される競技者、また、アジアのナンバー1を目指すため、本大会でメダル獲得が期待できる種目については戦略的に派遣する。

2. 開催地

愛知・名古屋

3. 開催期間

2026年9月19日（土）～10月4日（日）

4. 対象種目

(1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、4×100m リレー、4×400m リレー

(2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、4×100m リレー、4×400m リレー

(3) 混合

4×100m リレー、4×400m リレー

5. 主なスケジュール

2026年

4月～6月	日本グランプリシリーズ
6月予定	第110回日本陸上競技選手権大会・混成競技（2026/岐阜）
6月予定	第110回日本陸上競技選手権大会（2026/未定）
6月予定	日本代表選手発表

※期日は決定次第更新する。

6. 選考競技会

(1) 個人種目

1) 最重要競技会

①男女 10000m・男女混成競技以外の種目

第110回日本陸上競技選手権大会（2026/未定）

②男女混成競技

第110回日本陸上競技選手権大会・混成競技（2026/岐阜）

③男女 10000m

日本グランプリシリーズ・10000m（2026/未定）

2) 参考競技会

①2026年度開催の指定競技会

※2026年度の競技日程が未定なため、決定次第随時更新する。

②国内外で開催されるワールドランキング対象競技会カテゴリーD以上の競技会

(2) リレー種目

1) 最重要選考競技会

第110回日本陸上競技選手権大会（2026／未定）

2) 参考競技会

ワールドランキング対象競技会*

7. エントリー枠

男女各種目最大2名までエントリー可能。

ただし、派遣人数枠に限りがあるため、その範囲内の人数とする。

8. 選考基準

(1) 個人種目

内定条件及び選考条件は、以下のとおりとし、数字の若い順に優先するものとする。

【内定条件】

- 1) 東京2025世界陸上競技選手権大会で8位入賞以内の成績を収めた日本人最上位の競技者
- 2) 最重要競技会で優勝した競技者。ただし、2026年1月1日（男女10000m・男女混成競技は2025年11月1日）から最重要競技会該当種目終了までに参考競技会で派遣設定記録を満たしていること。同着の場合は以下の基準とする。
 - ① 最重要競技会終了時点の確定日ワールドランキング※1上位者
 - ② 2026年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績

【選考条件】

- 3) 最重要競技会該当種目終了までに参考競技会で派遣設定記録を満たしている記録上位の競技者。ただし、派遣枠数の関係から、種目間で比較を行う場合、以下の基準とする。
 - ① 当該記録のリザルトポイント※2
 - ② 確定日ワールドランキング※1上位者
- 4) 本大会においてメダルまたは入賞が期待され、強化委員会が推薦する競技者。

※1 確定日ワールドランキング…WAから常時公表されているワールドランキング
以下のサイトを参照：

<https://www.worldathletics.org/world-rankings/>

※2 リザルトポイント…WAワールドランキングのポイント算定の基礎となるリザルトポイント
以下のサイトを参照：

<https://worldathletics.org/download/download?filename=4f77dcb3-2945-4c58-ad8b-955a999b13e8.pdf&urlslug=World%20Athletics%20Scoring%20Tables%20of%20Athletics>

(2) リレー種目

リレー種目の代表の選考は、個人種目に準じて選考するが、リレーの特性を考慮する。

9. 選考方法

故障等により、大会本番で競技力を発揮できないと強化委員会が判断した場合を除き、上記選考基準に従い下記の方法で選考する。

(1) 個人種目

8. 選考基準 (1) 1) 2) は即時内定とし、専務理事が承認することにより決定する。
8. 選考基準 (1) 3) 4) 強化委員会にて選考原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

(2) リレー種目

個人種目での選考状況を鑑みて派遣の有無を検討し、8. 選考基準 (2) に従い、強化委員会にて選考原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

10. 補足

- (1) 派遣人数枠及び代表選手は、派遣団体である日本オリンピック委員会（JOC）により決定されるものであり、本連盟により選考されても、最終的に代表選手に選出されない場合がありうる。
- (2) 代表選手は本連盟、派遣団体、大会主催団体等が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。

本連盟が定める日本代表選手等に関する行動規範（参考）：

https://www.jaaf.or.jp/pdf/about/guidelines/koudou_kihan.pdf

- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
- 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 前記(2)を遵守しない場合
- (4) リレーの代表選手は、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿に参加する義務を負うものとする。
- (5) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (6) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、大会組織委員会が認める期限までに正選手に故障などが生じた場合は、選考基準における次点の選手を補欠として選考し、正選手となり本大会に出場する場合がある。
- (7) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会及び選考基準について、専務理事の決定により、変更することができる。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

以上